

「ご活躍を」と乾杯を发声（写真）、祝宴となり、小林定夫日比谷アメニス代表取締役が中締め、散会した。



国土交通省の平成20年度都市公園・緑地保全等事業予算概要が1月に発表された(407号(2月10日)概要既報)。本号では、このうち、ポイントとなる5つの事業、7つの新規・重点事項に掲げられた「都市公園バリアフリー化緊急支援事業の創設」について、事業の背景や内容について紹介する。

目的

都市公園バリアフリー化緊急支援事業は、バリアフリー新法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」を踏まえ、具体的な都市公園のバリアフリー化率向上に関する目標を定めた市町村において、緊急かつ計画的に都市公園のバリアフリー化を推進し、高齢者、障害者を含め、誰もが快適に生活できる都市環境の形成を図るのが目的。

バリアフリー新法

バリアフリー新法は、一

般的・総合的なバリアフリー施策を推進するため、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充

「平成20年度 都市公園・緑地保全等事業」解説

「都市公園バリアフリー化緊急支援事業」

平成24年度まで5年限定で施設整備推進

した「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」として、平成18年6月21日公布、12月20日に施行された。

基準適合が義務化

このうち、講すべき措置では、新たに整備する都市

ためのソフト施策も充実させるもの。

法律では、①主務大臣による推進のための「基本計画」の作成。②施設設置者の講すべき措置、③重点・一体的な実施、④住民参加の措置、⑤スバイラルアップと心のバリアフリーの促進

た地区(重点整備地区)については、施設ごとに定められた「バリアフリー化基準(移動等円滑化基準)」の適合が義務付けられ、既存の都市公園等において、基準に適合するよう努力義務が課せられるなど、義務として実施しなければ

「都市公園バリアフリー化緊急支援事業」は、特定公園施設の新設・増設・改築を行う際に「都市公園移動等円滑化基準」への適合義務となっており、既設の特定公園施設に

義務の内容

都市公園における義務は、特定公園施設の新設・増設・改築を行う際に「都市公園移動等円滑化基準」への適合義務となっており、既設の特定公園施設に

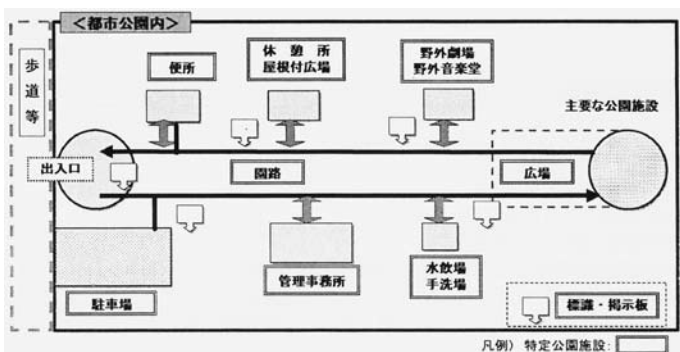
統合補助で実施

都市公園バリアフリー化緊急支援事業は、都市公園のバリアフリー化に課題があり、次期社会資本整備重点計画期間(平成20年度から24年度)における都市公園のバリアフリー化の目標を統合補助事業計画に定めた市町村に対して、平成20年度から5カ年間に限定して実施する。

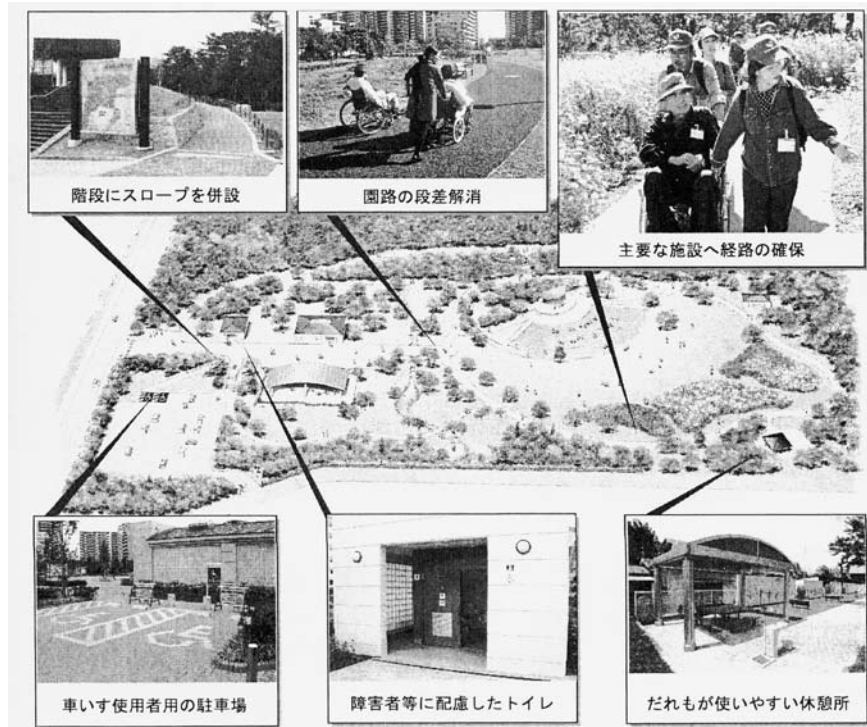
事業は、都市公園等統合補助事業において実施されるが、バリアフリー化緊急支援は、統合補助事業が対象としている都市計画区域内住民一人当たりの敷地面積(10㎡(DID区域は5㎡以上)と異なり、複数の都市公園におけるバリアフリー化のための施設整備を、一人当たり公園面積に

全省2千5百億円

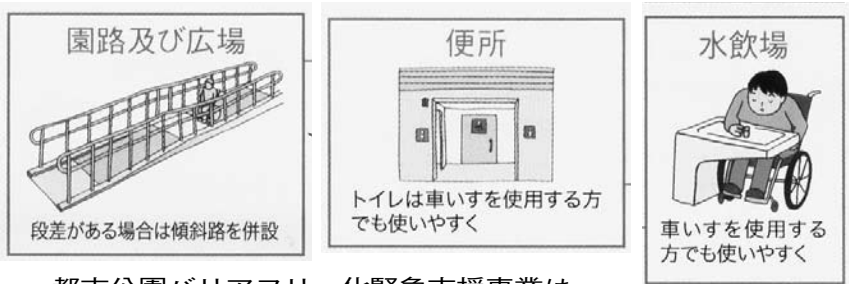
なお、総合的なバリアフリー化の推進は、都市公園事業だけでなく、国土交通省全省で進められ、交通・観光の拠点性が高い駅については、乗降客5千人未満であっても段差の解消を図るなど、移動の円滑化を推進。予算減少が相次ぐ中、平成20年度予算には、対前年度比10%増の2530億円が計上されている。



凡例) 特定公園施設:



都市公園におけるバリアフリー化のイメージ



都市公園バリアフリー化緊急支援事業は、特定公園施設に対して、緊急に支援する

■ 特定公園施設

- ① 都市公園の出入口及び駐車場と特定公園施設、主要な公園施設との間の経路を構成する園路及び広場
- ② 屋根付広場
- ③ 休憩所
- ④ 野外劇場
- ⑤ 野外音楽堂
- ⑥ 駐車場
- ⑦ 便所
- ⑧ 水飲場
- ⑨ 手洗場
- ⑩ 管理事務所
- ⑪ 掲示板
- ⑫ 標識

新設時等に基準適合義務

■ 都市公園移動等円滑化基準

・公園管理者等が特定公園施設の新設、増設又は改築を行うときは、移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する主務省令で定める基準(都市公園移動等円滑化基準)に適合させなければならない。

<基準の例>

- 園路  
・出入口(有効幅120cm以上、段差なし等)  
・通路(通路幅180cm以上、縦断こう配5%以下等)  
・傾斜路(有効幅120cm以上、縦断こう配8%以下、手すりの設置等) 等
- 駐車場  
・車いす使用者用駐車施設(施設数、有効幅350cm等) 等
- 便所  
・車いす使用者の円滑な利用に適した構造を有すること 等

特定公園施設と都市公園移動円滑化基準



誰もが快適に生活できる都市環境の形成が求められている

- 移動等円滑化基準を満たす「園路及び広場」が設置された都市公園の割合: 約45%
- 移動等円滑化基準を満たす「駐車場」が設置された都市公園の割合: 約35%
- 移動等円滑化基準を満たす「便所」が設置された都市公園の割合: 約30%

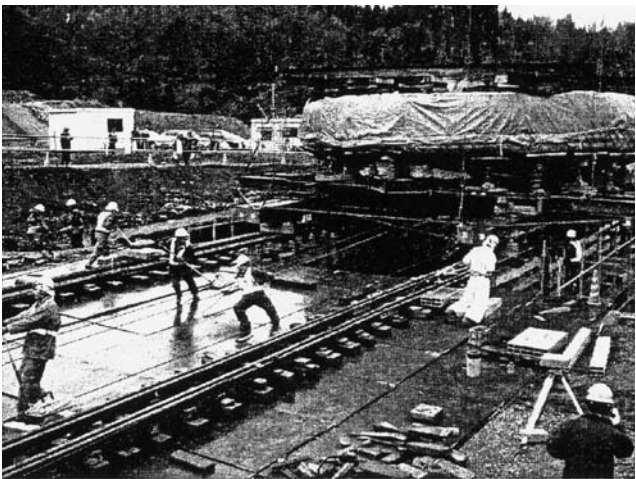
都市公園における公園施設の移動等の円滑化の目標(平成22年度)



技術レポート No.021

巨木の移植技術について

日造協 技術情報共有発表会より  
北陸総支部



1 回目的人力による水平移動（チルホール使用）



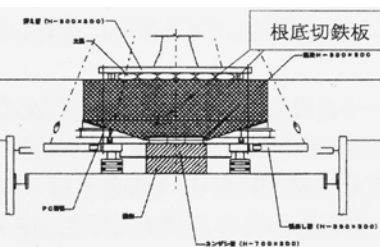
3%勾配として迂回するルートの当初計画①を変更し、垂直移動を取り入れ、最短経路とした提案工法のルート②



移植後のようす（昨年8月）



ベイジリ部下の人力による掘削のようす①と根鉢断面図②



北陸総支部では、山形県西置賜郡小国町の横川ダム建設に伴い、ダム湖に沈む場所であり、地域のシンボルとして親しまれている町指定の天然記念物「飛泉寺イチョウ」の移植工事を行いました。

移植は、貯水位の変動が根に影響を与えない場所への移動で、イチョウは、樹高約25m、根廻り9m、重量は、根鉢を含め320tに及びました。

当初の工法は、高低差9mを3%勾配でV字型に328m移動させるものでした。しかし、架台下のコ口棒の固定方法などに不安があり、横滑りや作業終了時の固定方法など、多くの問題点がありました。

そこで、落差を垂直移動で対応、最短距離を移動す

このため、当初発注の工法について、問題点を洗い出し、「造園移植技術の一つである立て曳き工法と曳家工法とのコラボレーション」による、より安全で工期短縮、コスト低減が可能な提案を行い、実施することになりました。

移植の施工手順は、大きく①～⑫の通りで、移植準備工事に当たっては、移植樹木の診断や仮設準備のほか、運搬経路の土工・段差土留め矢板の打ち込みや基礎工・仮設鉄板の敷設などを同時進行しました。

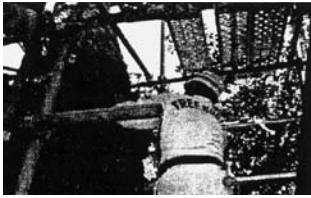
1次掘削と根巻下巻で、移植の概観が見えはじめ、根鉢直径9m、根鉢の高さ2.3mがいかに巨大であるかがわかるようになりました。

移動は、まずジャッキアップにより根鉢を上げ、枕木を井桁状に組み上げていくことで、所定の高さまで垂直移動を行います。

移動は、まずジャッキアップにより根鉢を上げ、枕木を井桁状に組み上げていくことで、所定の高さまで垂直移動を行います。



①準備工  
現地調査・施工計画・測量



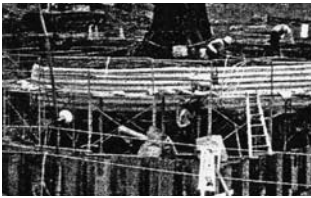
②移植準備工  
作業ヤード造成ほか



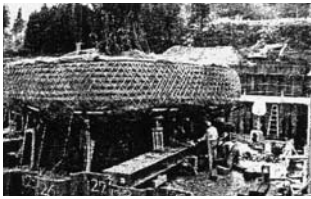
③土工  
1次掘削・根巻下巻・土留め矢板



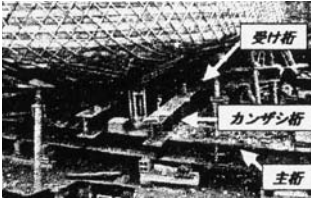
④土工  
2,3次掘削・ベイジリ部人力掘削



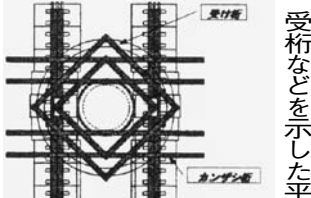
⑤根巻本巻  
樽巻の延長を固定



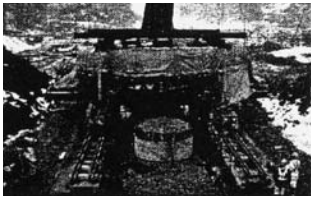
⑥3,4次掘削・鋼材設置  
仮設サポート撤去・主桁設置



⑦5,6次掘削・鋼材設置  
カンザシ桁・受桁設置



⑧垂直移動(5回繰返し)  
ジャッキアップし枕木組む



⑨水平移動(5回繰返し)  
レール敷きチルホールで引き込む



⑩架台撤去  
主桁・敷鉄板撤去・受けH鋼設置



⑪土工  
改良土埋め戻し・酸素管設置ほか



⑫土工  
発生土埋め戻し・排水管設置ほか

緑で生きる

本年2月、総支部事業として、北陸3県リーフォーラムを行いました。「福祉・医療・健康」とみどり」と題し、各県がそれぞれ福祉、医療、健康という題目のどれか一つを選択し、みどりととの連携を模索するという試みです。

最初に、なぜこのような取り組みを行ったかを少しお話ししたいと思います。



が都市の至る所に残り、辺りを見渡せば、川あり、田あり、畑ありの情景がありますので、大都会で騒がれているような屋上緑化や壁面緑化に対する要望は少なく、また、防災公園の必要性においても、「論ずれば動くに至らず」の状態です。この都市的発展の考えに対して、何か地方を動かすきっかけはないか、その心労に對しても、「癒し」を求

の答えの一つが、今、地方でも大きな問題となっている、少子高齢化が同時に「さあ社会復帰だ」という考えには非常に不安が付きまとうわけです。そこで、無機質な病院の中や、物の周囲に生きた緑の空間を提供し、そこにある生き生きとした草花や、風にそよぐ木々を目にすることで、患者さんの心に、新たな生活への希望が生まれ、早期離床、早期退院への強い思いが芽生える、それを結果として医療費の削減へと繋げようというわけです。

加茂輝隆（富山興業株）



# 総・支部 だより

各総支部・支部からの記事を紹介します



## 公益法人の意義を实践 社会還元事業のご紹介

### 茨城県支部

日造協茨城県支部と茨城県造園建設業協会が実施している『社会還元事業』について紹介します。

社会還元事業は、県内に

ある社会福祉施設の庭木や生垣・芝生などの植栽管理をボランティアで行うものです。

この事業は、平成14年に初めて実施し、「平素お世話になっている社会への恩

実施にあたっては、各ブロックの会員が協調体制をとって行っています。

これまでの5年間で10施設

設を実施し、特別養護老人ホーム、知的障害児施設、知的障害者援護施設、知的障害者更生施設など多様な福祉施設に



社会還元事業のもよう

及んでいます。社会還元事業は、今後も継続する方針ですが、その意図は単に受入れ施設への慈善の奉仕行為のほかに、協会にとつてもプラスになる大きな期待が寄せられているからです。

公益法人のあり方として、「地域とのかかわりは非常に重要で大切なことだ」と言われています。

成17年度は、県内福祉施設13カ所の庭木の剪定を行いました。平成18年度は、県内5カ所の公立幼稚園・保育園の園庭の芝生化を実施し、引き続き平成19年度は、県内4カ所の園庭の芝生化を実施しました。

## 剪定や園庭の芝生化など 前向きな取り組みを実施

### 山梨県支部

公共工事の激減、入札契約制度の改革と言った大きな変化のうねりは、造園建設業界に厳しい対応を迫っています。

こうした中で当支部では、県造協との連携をさらに強めながら、両者一丸となつてさまざまな事業を積極的に展開しています。規模的にも財政的にも小さな支部ではありますが、総務技術、事業、特別の各委員会は頻繁な会合を開きながら工夫を重ね、少ない予算

園庭の芝生化に取り組む会員と芝生の上の子どもたち

これは、当支部の存在感を他に示す有効な手段であると考えたからであり、平

## 防災協定結び訓練など実施 地道な活動で地域に貢献

### 埼玉県支部

日造協埼玉県支部は、埼玉県造園業協会とともに昨年の平成19年3月に、埼玉県知事と災害時の防災基本協定を締結しました。これにより、両団体の会員企業

121社は大規模災害が発生したとき、29カ所の県営公園等が避難場所や防災活動拠点として利用できることになりました。

この基本協定を受けて、会員企業が災害の時に動員できる人数や連絡網、確保できる車両・重機などを一覧表に取りまとめ、平成19年7月に11カ所の県土整備



上田知事 左2番目」との締結のもよう」と訓練のようす



事務所長と防災細目協定の締結しました。協定の特徴は条文中に、会員企業が担当する公園等で復旧活動を実施するとき

は、県土整備事務所に加え指定管理者の指示にも従う記述があることです。

これは、埼玉県が指定管理者の要件に多くの防災関連項目の履行を求めているため、この条文は他の造園団体が結んでいる協定と異なるところであると思います。

いずれにしても、協定により会員企業は、埼玉県の経営審査事項で総合点3点（平成20年4月から15点・主観点10点が加算されることとなりました。

その一方で、いざ災害という時しっかりした体制で復旧活動に参加し、地元地域に貢献することが求められます。

このため、平成19年10月

には災害時における電話での伝達訓練を行い、121会員が29公園等の連絡を50分で終了するなど、会員相互の連絡体制を確認しました。

さらに、平成20年2月に県営上尾運動公園で、指定管理者や県土整備事務所、地元自治会住民、消防署員の方々と防災施設の稼働訓練に参加しました。

この訓練は、非常用発電機や防災戸、耐震性貯水槽などを、会員企業や自治会住民らが自ら鍵を開けス

イッチ操作をする実務的な訓練でした。

埼玉県支部では、長年にわたる公園緑地などの建設や管理に携わってきた経験に加え、こうした地道な活動を通し、協会団体として責任ある造園建設企業として、地域の方々のお役に立ちたいと願っています。

（事務局長・伊藤正博）

## 事務局の動き

### 3月

- 1(土)・技能五輪全国大会（千葉県・木場公園）
- 3(月)・公共用緑化樹木等品質寸法規格基準改定委員会
- 4(火)・総務委員会企画部会「広報日造協」編集会議
- 5(水)・財日本造園修景協会理事會
- 6(木)・運営会議

- 12(水)・造園基幹技能者運営委員会
- 13(木)・建設業労働災害防止協会「危険性・有害性等のマニュアル委員会」ワーキンググループ委員会
- 15(土)・総務委員会財務部会
- 17(月)・造園技術研修会（東北総支部）
- 18(火)・総務委員会（全国）事業発表会
- 19(水)・造園基幹技能者制度推進協議会
- 25(金)・第25回全国都市緑化

- 27(木)・理事會
- 28(金)・全国造園デザインコンクール運営會議
- 29(土)・第25回全国都市緑化ぐんまフェア開會
- 30(日)・台北國際花卉博覽會綱要計畫アードバイス（台北市）

### 4月

- 3(木)・公園緑地功労賞選考委員会
- 7(月)・「広報日造協」編集會議
- 8(火)・造園CPD協議會
- 10(木)・建設系CPDシステム部會
- 11(金)・入札契約制度対応分科會
- 12(土)・全国都市緑化祭
- 19(土)・第19回全国「みどりの愛護」の集い（山口市）